

えんだより



2026 年 10 月

認定こども園カトリック吉野幼稚園

主 題：「自立する」

聖書のことば：「自分にしてほしいことは他の人にもそのようにしなさい」（マタイ 7：12）

二学期が始まり、すぐにまだまだ暑い中での運動会の練習となりました。最初は、まだ慣れない様子の子どもも見受けられましたが、少しずつ本調子になってきたようでした。午前のみ開催での本番となりますが、運動会が、晴天に恵まれますようお祈りしたいと思います。

さて今回は、前回の「発達の四段階」の①乳幼児期と②児童期についてのお話です。0～6歳の乳幼児期については、いわゆる小学校に行く前の時期で、日本でも世界でも、子どもは何もできないのだから「親や先生の言うとおりにしていればいいんだ!」とか「お勉強は小学校に入ってから。それまでは外で元気に遊んでいればいいんだ!」などという考えが主流でした。ところがモンテッソーリは全く違う考えを示しました。「0～6歳の間は、その後の長い人生を生きていくのに必要な、80%の能力が備わる、最も大切な時期である」というのです。つまり、「発達の四段階」の中でも、最も変化が激しく大切な時期なのです。

6～12歳の児童期は、小学校の時期です。この時期は、子供の成長はなだらかで安定しています。なので、親も少し気を抜ける時期かもしれません。そして、この時期は「莫大な記憶が可能な時期であり、かつ、この時期に覚えたことは半永久的に忘れない」という素敵な時期なのです。より多くのことを経験させるとよいでしょう。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

10月のねらい

A グループ・運動会で頑張ったことが次への意欲に繋がることを期待し、様々な表現や制作活動を楽しむ。

秋の自然や美しさ、面白さに触れる。

B グループ・秋の収穫体験や身近な秋の自然に触れ、興味や関心を持つ。

C グループ・戸外での自然物に触れて楽しむことで、秋の自然に興味や親しみを持つ。

D グループ（つぼみ）・遊びの中で「かして」など言葉で気持ちを表現し、友だちとの関わりを楽しむ。